

3類型	農林水産物	通巻番号	2 - 21 - 006
地域資源名	りんご	認定日	平成21年10月27日
地域	青森県弘前市	所管省庁	農林水産省、経済産業省

事業名：「摘果りんご」を活用した一次加工品(濃縮果汁・ストレート果汁)の製造販売事業

会社名：株式会社かめあし

所在地：青森県前市千年1丁目22-7

連絡先：TEL：0172-31-3181

H P：http://cameashi.net/

事業概要(新たな活用の視点)

- りんご生産過程で産業廃棄物として処分されてきた「摘果りんご」には、成果実と比較して高濃度のりんごポリフェノールが含まれている。本事業では、この摘果りんごを活用して、りんごポリフェノールを多く含む一次加工品(濃縮果汁・ストレート果汁)を開発・販売する。

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

競争力

- 摘果りんご(6月末から7月初旬にかけて採取される一番摘果及び二番摘果と呼ばれるもので、直径5cm未満の未成熟果実)。は、通常のりんご成果実と比較して、りんごポリフェノールが10~15倍以上含まれていることが確認されている。
- りんごポリフェノールの機能性と、生産履歴が明確で安全・安心な青森県産の摘果りんごの活用により、製品の独自性を訴求する。

市場性

- 機能性食品業界では、カテキンや大豆ペプチド、クエン酸、アミノ酸、黒酢・香酢などがそれぞれ数十億~1000億円超の市場規模を有しているが、りんごポリフェノールは、カテキンや大豆ペプチド等と同様に原料としても添加物としても利用可能で汎用性が高い。

販路

- 食品、飲料、健康食品分野への原料供給として販路開拓を行うほか、当社がりんごの販売により築いた10万人の顧客を有するインターネット販売も活用する。



一番摘果



二番摘果

地域資源における関係事業者との連携

- 地域の農業生産法人やその契約りんご農家等と連携することにより、今まで廃棄処分していた摘果りんごを原料とする仕組みを作り、りんご農家の所得増に寄与する。また、県内の行政や大学の研究機関等の連携を図りながら事業を展開する。